

CHALLENGE

～安心・安全な和牛生産を目指して～



茨城県立水戸農業高等学校

- ▶ 明治28年に開校
- ▶ 年創立127年目を迎える歴史と伝統のある学校
- ▶ 生徒在籍数日本一（令和3年度）

全日制7学科（農業・畜産・園芸・生活科学・農業土木・農業経済）

昼間定時制（農業） 計8学科

農業から次代を担う心豊かな人材の育成を目指しています

1. はじめに



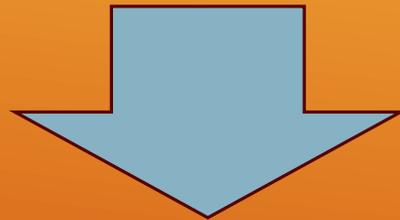


- ▶ 食肉取引規格A、Bの4と5等級の格付けされた肉質の優秀なものだけが「常陸牛」と呼ばれる



茨城県の銘柄牛「常陸牛」

- ▶ 畜産部の活動で牛の飼育管理
- ▶ 水農で育てた牛の客観的な評価が知りたい
- ▶ 粗飼料を自家飼料とし、
 - 飼料費の削減
 - 耕畜連携を図る



消費者にとって、安心・安全な和牛生産を目指したい！

2. 目的



黒毛和種 子牛登記		雄 藤花美		登記記号番号	2021 子茨黒 1640067873
発行支部名 (支所)	茨城県支部 ()	令和 3 年 8 月 21 日生		発行年月日	令03.10.28
問合せ番号	291-2707311-001			産肉能力 育種価評価	年 月 地 域
検査年月日	令03.10.20	父 聖香藤	黒原 5642 (86.2)	祖父 勝忠平	黒原 3800 (87.5)
検査委員	木村 義雄			曾祖父 平茂勝	黒原 2441 (89.0)
授精年月日	令02.11.10			現検 H13	G=16
授精者氏名	飯盛 和也			祖母 なつえ 7.5	黒原 1306268 (82.6)
損徴 特記				曾祖父 安福久	黒原 4416 (85.5)
鼻紋		母 うめはな	黒 2707311 (81.0)	祖父 茂晴花	黒 14619 (81.5)
	9 727			曾祖父 平茂晴	黒原 3712 (84.0)
				現検 H24	L=24
				祖母 うめこ	黒 2614428 (82.5)
				曾祖父 美津照重	黒 13968 (82.9) 黒高 2050 (83.3)
繁殖者 (管理者)	()	茨城県石岡市根小屋1234		茨城県畜産センター (0801556-00000030)	
和牛改良組合認定番号	特認-18				
備考欄	4代祖 芳之国	繁殖者〒	315-0132	セリ年月日	セリ番号
		セリ体重	価格		
個体識別番号 16400-6787-3					

藤花美 (ふじはなみ)

R3.8.28生

父「聖香藤」

母方の祖父「茂晴花」

曾祖父「平茂晴」

3. 素牛の導入 (1)



期待の期待 ABDCB 10

黒毛和種 子牛登記		雄	登記記号番号
発行支部名 (支所)	茨城県支部	若9812	2021子受卵灰黒 0871748520
問合せ番号	291-2510270-011	受卵	発行年月日 令03.10.25
検査年月日	令03.10.08	令和3年8月25日生	産肉能力 年 月 日 育種価評価 年 月 日
検査委員	木村 義雄	父 福之姫	曾祖父 第1花園
移植年月日	令02.11.14	黒原 5689 (82.7)	黒 14203 (80.0) 現検 L=18 H20 黒 12510 (82.8)
移植者氏名	大泉 論士	現検 L=23 H27	黒原 1345236 (83.0) 曾祖父 勝忠平 黒原 3800 (87.5)
損徴 特記		母 ほくせい1460	曾祖父 勝忠平 黒原 3800 (87.5) 現検 G=16 H13 黒原 2441 (89.0)
		黒 2510270 (80.4)	相母 ほくせい310 曾祖父 安福久 黒 2338451 (81.2) 黒原 4416 (85.5)
		繁殖者 (管理者)	北海道久遠郡せたな町瀬根区東大里371 岡崎 達郎 (0113012-09230580)
			(茨城県稲敷市蒲ヶ山1315番地の2 農業生産法人若林牧場 (0801401-00000400))
和牛改良組合認定番号	茨 -20	備考欄	4代祖 金幸 本牛試料番号 21050633
			繁殖者〒049-4826 管理者〒000-0000
			セリ年月日 セリ番号 セリ体重 備考
			個体識別番号 087117-4852-0

芹橙昂 (せりじゅうごう)

R3.8.25生

父「福之姫」

母方の祖父「勝忠平」

曾祖父「平茂勝」

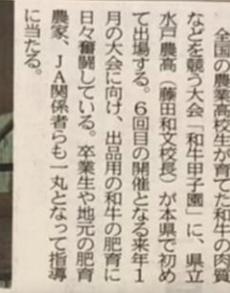
3. 素牛の導入 (2)

茨城新聞

8月29日 月曜日
茨城新聞
〒310-8686
水戸市笠原町978-2
電話 (029) 239-3001
http://ibarakinews.jp
編集局
電話 (029) 239-3020
FAX (029) 301-0366
配達申し込みは
0120-029-211
(平日午前9時～午後5時)
2024年 創刊300周年
その先の未来へ

水戸農高和牛甲子園へ

卒業生や地元農家、JA一丸



全国の農業高校生が育てた和牛の肉質などを競う大会「和牛甲子園」に、県立水戸農高（藤田和校長）が本県で初めて出場する。6回目の開催となる来年1月の大会に向け、出品用の和牛の肥育に日々奮闘している。卒業生や地元の肥育農家、JA関係者らも一丸となって指導に当たる。

生徒ら肥育に奮闘

和牛甲子園は将来の畜産業の担い手となる生徒の技術向上を目指す、全国農業協同組合連合会（JA全農）が2017年度に開始し、毎年1月に開催している。大会は日頃の肥育の取り組みを審査する「取組評価部門」、枝肉の霜降りや肉の付き方を競う「枝肉評価部門」の2部門で構成され、両部門の合計点による「総合評価部門」で総合優勝を争う。同校は来年1月の大会では取組評価部門に出場し、次年度は両部門へ出場する。

「本年度、保護者らの声をきっかけに初出場へ向けた動きが本格化し、6月に子牛の頭の去勢生を導入した。牛の世話をするのは、畜産部生徒の生徒18人。校外で生まれたを育てるのは初めて。大会用に育てた経験もなく、手探りで肥育に取り組

松本勉人さん(24)は「自分で育てた牛の価値を知ることとはとても大切」と取り組みを応援する。顧問の尾沼久美子教諭(40)は「大きな目標ができたことで、生徒たちはこれまで以上に興味を持って肥育に向き合うようになった。牛と一緒に成長してほしい」と見守る。

これまで部活動を休みがなかった同校2年の佐藤愛蘭さん(17)は「育てた牛を評価してもらえると聞いてわくわくしている」と話



水農アベンジャーズ



4. 飼育管理

○餌当番：朝・夕2回

○牛房清掃：定期的に実施

○ブラッシング：血行を良くし
毛並みを整える

○温度管理：夏→扇風機
冬→敷料を多めに

4. 飼育管理（2）



個体へのストレス軽減

▶ 害虫（ハエ）の抑制

① トラップシート（ハエ取シート）

② 独自調製のハエ取り剤

（めんつゆ・砂糖・酢を混合）

▶ ③ フラッシュベイト・アジタ

▶ （寄生虫駆除剤）

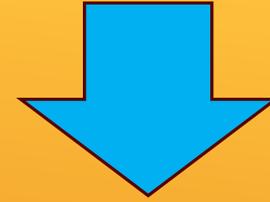
4. 飼育管理（3）





4. 敷料収集 (小麦わら)

農業科より脱穀後の稲わらを提供してもらう

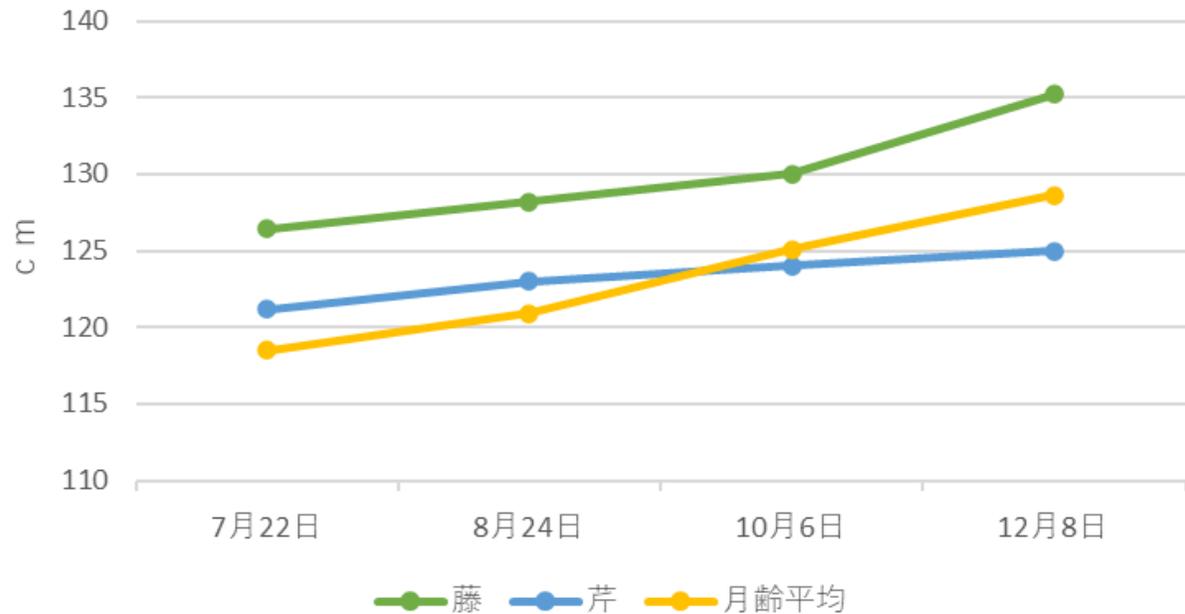


粗飼料費のコスト削減

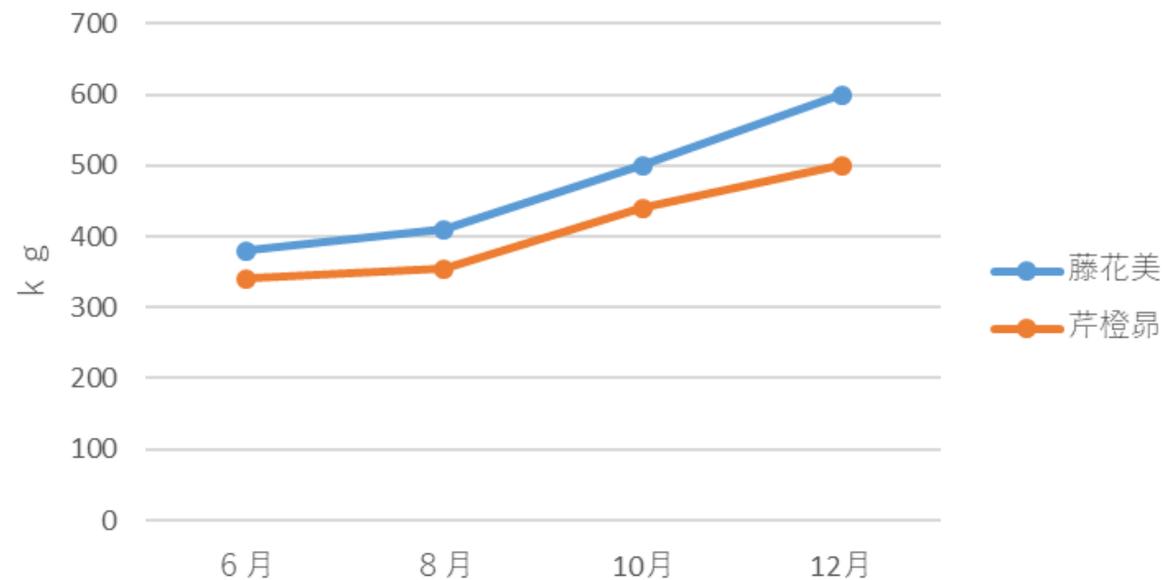


5. 自給飼料（稲わら生産）

体高の推移



体重の推移



6. 測定結果





安心・安全な和牛生産を目指して
愛情込めて育成中♡